



色とりどりのジャム

ジョイクラブ (葛城市)



農家の女性が地元の原料を使った手作りジャム
お母さんの手作りの味を届けたい！！

6次産業化の取組に至った経緯

ジョイクラブは、昭和58年にイチゴ農家をはじめとした30名ほどの女性で設立されました。当時、大畑(おばたけ)地区は20数戸のイチゴ農家がありました。「収穫時に傷んだり、規格外で出荷できないイチゴを有効活用できないか」という農家の女性たちの思いから、県の支援のもと、ジャムづくりを始めました。「新鮮な素材を使った手作りジャムは、ほんとにおいしかった！その時の感動は今でも忘れられない。子供たちにお母さんの手作りの味を届けたい一心でジャム作りをしている。」と設立当時からのグループ員は話してくれます。現在、会員は、葛城市大畑地区を中心とした市内在住の兼業農家女性9名。会員や地区生産者が栽培する農産物を利用し、様々なジャムを商品化し、道の駅かつらぎや道の駅ふたかみパーク当麻「郷土食当麻の家」を中心に、スーパーや土産物店、イベントで販売しています。他の農家からの受託加工なども行っています。

道の駅ふたかみパーク当麻
「郷土食当麻の家」

道の駅かつらぎ

6次産業化の取組内容

1. 商品の開発

①地元の旬の素材を使った手作りジャム

地区の自治会の理解を得て、集落センターの調理室を活用し、地元の農産物をジャムに加工し、県内の店舗やイベント等で販売を行っています。現在、「いちご(古都華)、いちご(アスカルビー)、ぶどう、いちじく、もも、なし、こうじ、うめ、とまと、かき、みかん、マーマレード、にんじん、りんご、ジャバラ)の15種類を作っています。特に県で育成されたイチゴ「古都華」と「アスカルビー」を利用したジャムは適期に収穫したイチゴを畑から加工場へ直送し、すぐに加工することできれいな色に仕上がりに、自慢の商品となっています。品目によっては、季節に応じて他産地の素材を使用する場合がありますが、基本は地元の葛城市を中心に県産の素材を使用しています。



15種類のジャムのラインナップ

②低カロリージャムシリーズ

健康に配慮し、カロリー摂取制限している人のために、砂糖の一部をエリスリトールに置きかえた「低カロリージャムシリーズ」を平成30年より新たに販売しました。エリスリトールは自然界に存在する甘み成分で、低カロリーで、血糖値を上げない新しい甘味料として利用が進んでいます。「低カロリージャムシリーズ」は、砂糖をエリスリトールに40%置きかえることで、従来商品よりカロリーを30%低減することができ、消費者から好評を得ています。平成30年よりイチゴ、令和元年よりマーマレード、みかんの低カロリージャムを製造・販売しています。

③夢みる梅ジャム

梅酒がブームとなり、日本酒メーカーの多くが独自の梅酒の開発に取り組む中、葛城市にある酒造会社でも、梅酒の生産を拡大し、それに伴い漬け終わった梅の実の廃棄量が増加していました。ちょうどその頃、市町村合併の記念になる新商品開発の話が持ち上がり、グループでこれらの梅の実を利用したジャムづくりに取り組みました。開発したジャムは食べると口の中に梅酒の風味が広がる逸品で、「夢みる梅ジャム」と名付け、販売を開始しました。

2. ラベルデザイン統一

平成26年度に、全てのジャムのラベルのデザインを一新し、統一デザインにしました。「添加物を使わない」というこだわりが消費者にわかりやすく伝わるように、「ジョイさんがつくったまじめなジャム」と名付け、ブランド化を図っています。

3. 販売促進

平成26年度より、県6次産業化商談会はじめ、全国規模の展示・商談会(平成26年度全国キャラバン食の



大人気のイチゴジャムの製造

発掘商談会in神戸、平成28年度in大阪)に出展。通信販売や大規模小売店等をターゲットに新たな販路開拓に取り組んでいます。

取組の成果

奈良県農村生活研究グループ協議会に属し、学生などへ食文化の伝承に尽力するとともに、農業生産や農産加工について協議会員との積極的な情報交換を行っています。県が開催する農産加工、商品開発、起業活動に関する研修等にも積極的に出席し、技術や経営面の発展に努めてきました。また、道の駅等に加工品を周年出荷し、地産地消を推進することで、地域農業の発展に寄与しています。その取り組みは、農家女性による起業活動のモデルとなるとともに、意欲的な女性の活動や、生きがいつくりの場となっています。

平成18年には「第1回奈良観光みやげもの大賞 菓子・食品部門」において地域酒造業者と連携した商品開発の取組が評価され、「夢みる梅ジャム」が入賞しました。また同年、当グループの活動が、近畿農政局男女共同参画優良事例表彰において経営参画部門優秀賞を受賞しました。平成28年度には30年以上にわたる女性農業者の意欲的な活動が評価され奈良県農業賞を受賞しました。

今後の事業展開

地域の女性が集まってジャム作りをすることは、グループ員にとって生きがいとなっており、今後さらに、奈良県農村生活研究グループ協議会などを通じて農村女性のネットワークを強め、県内の様々な原料を入手し、ジャムの種類や生産量を拡大し、新たな販売先を開拓していくことで、地産地消に貢献していきたいと考えています。

また、県の指導や支援を受け、HACCPの考え方を取り入れた衛生管理に取り組み、消費者が安心して購入できる商品作りを心がけていきたいと考えています。今後も取組が継続されるよう、活動に賛同する農家女性を広く葛城市内から迎え、新たな担い手として、培ってきた技術を伝承していきたいと考えています。

事業者概要

事業者名	ジョイクラブ
代表者名	木村 匡子
住所	奈良県葛城市大畑103
電話	0745-48-3049
F A X	0745-48-3049

